

# 東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2012年3月期決算-

2012年5月10日

# 目次

1. 2012年3月期連結決算 p.2
2. 2013年3月期連結決算予想 p.12
3. 2013年3月期事業方針 p.19



**2012年3月期連結決算**

# 業績概要

(百万円、%)

	2011/3	2012/3		
		増減	増減率	
売上高	79,990	80,006	+16	+0.0
営業利益	6,096	6,072	△24	△0.4
経常利益	6,641	6,836	+195	+2.9
当期純利益	3,649	3,818	+168	+4.6

- 期中平均為替 (USドル) : 84.8円/ドル (2011/3) ⇒ 78.2円/ドル (2012/3)
- 売上高 : 印刷材料事業撤退の影響はあったが、装置事業の増収で、前年同水準を確保。
- 営業利益 : 貸倒引当金繰入が利益を押し下げたものの、装置事業の増益等により、前年同水準を確保。

# 営業外損益・特別損益

(百万円)

	2011/3	2012/3	前年比
<b>営業外損益</b>	<b>545</b>	<b>764</b>	<b>219</b>
( 営業外収益 )	(777)	(928)	(151)
受取利息・配当金	239	246	6
持分法による投資利益	111	117	5
為替差益	-	104	104
( 営業外費用 )	(232)	(164)	(△68)
為替差損	55	-	△55
租税公課	101	112	10
<b>特別損益</b>	<b>△214</b>	<b>△259</b>	<b>△45</b>
( 特別利益 )	(687)	(11)	(△676)
貸倒引当金戻入額	384	-	△384
( 特別損失 )	(902)	(270)	(△631)
固定資産除去損失	199	123	△75
減損損失	1	73	71
災害による損失	409	-	△409

# 事業別セグメントの業績

(百万円、%)

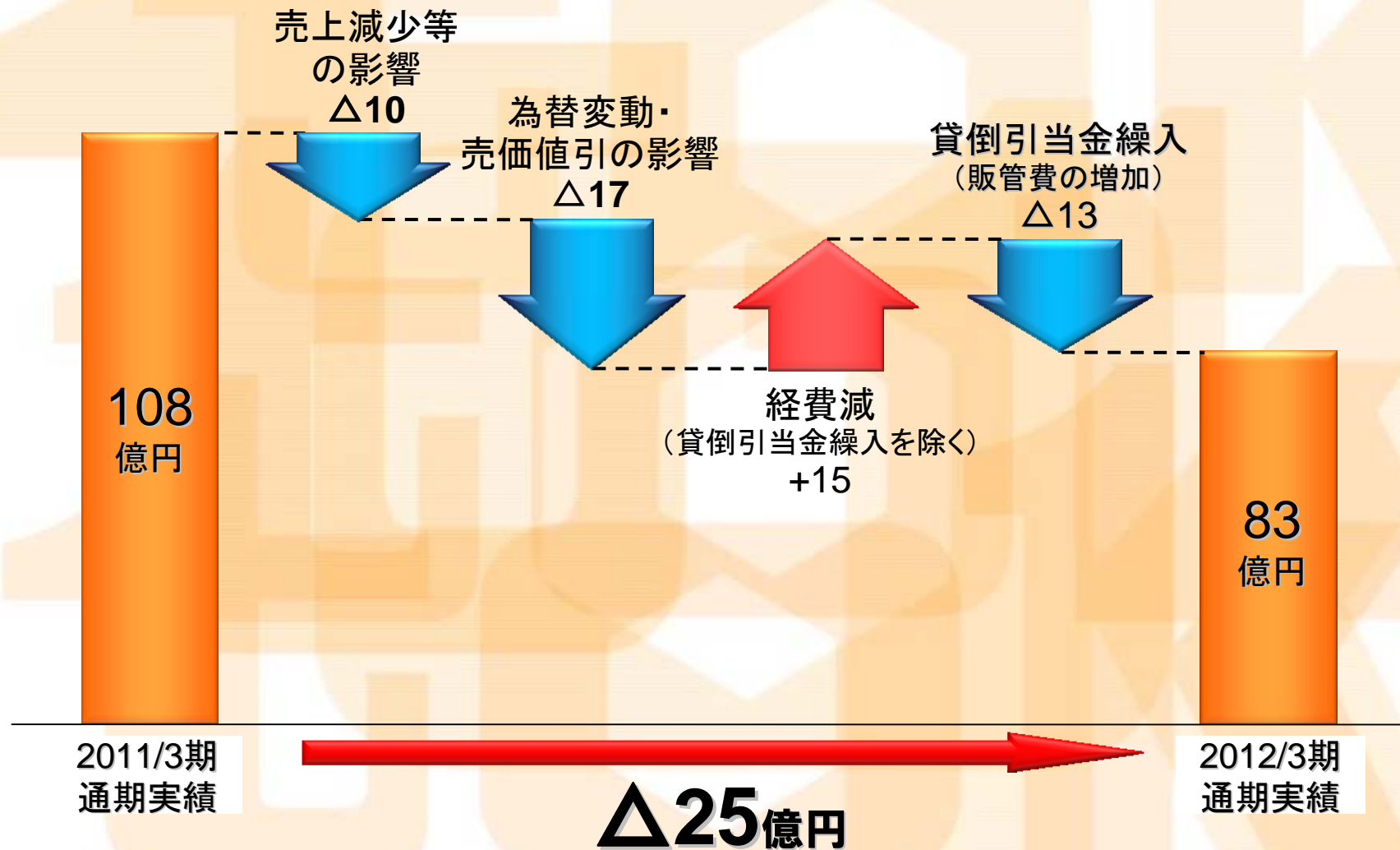
	2011/3	2012/3		
		増減	増減率	
売上高	79,990	80,006	+16	+0.0
材料事業	71,456	66,622	△4,834	△6.8
エレクトロニクス機能材料	42,573	43,246	+673	+1.6
高純度化学薬品	25,124	22,789	△2,335	△9.3
印刷材料	3,693	470	△3,222	△87.3
装置事業	8,533	13,384	+4,850	+56.8
営業利益	6,096	6,072	△24	△0.4
材料事業	10,770	8,280	△2,489	△23.1
装置事業	△1,381	900	+2,282	—
消去又は全社	△3,291	△3,108	+182	—

(注) 印刷材料事業は2011年3月1日付けにて譲渡。装置事業の売上は消去後の数字。

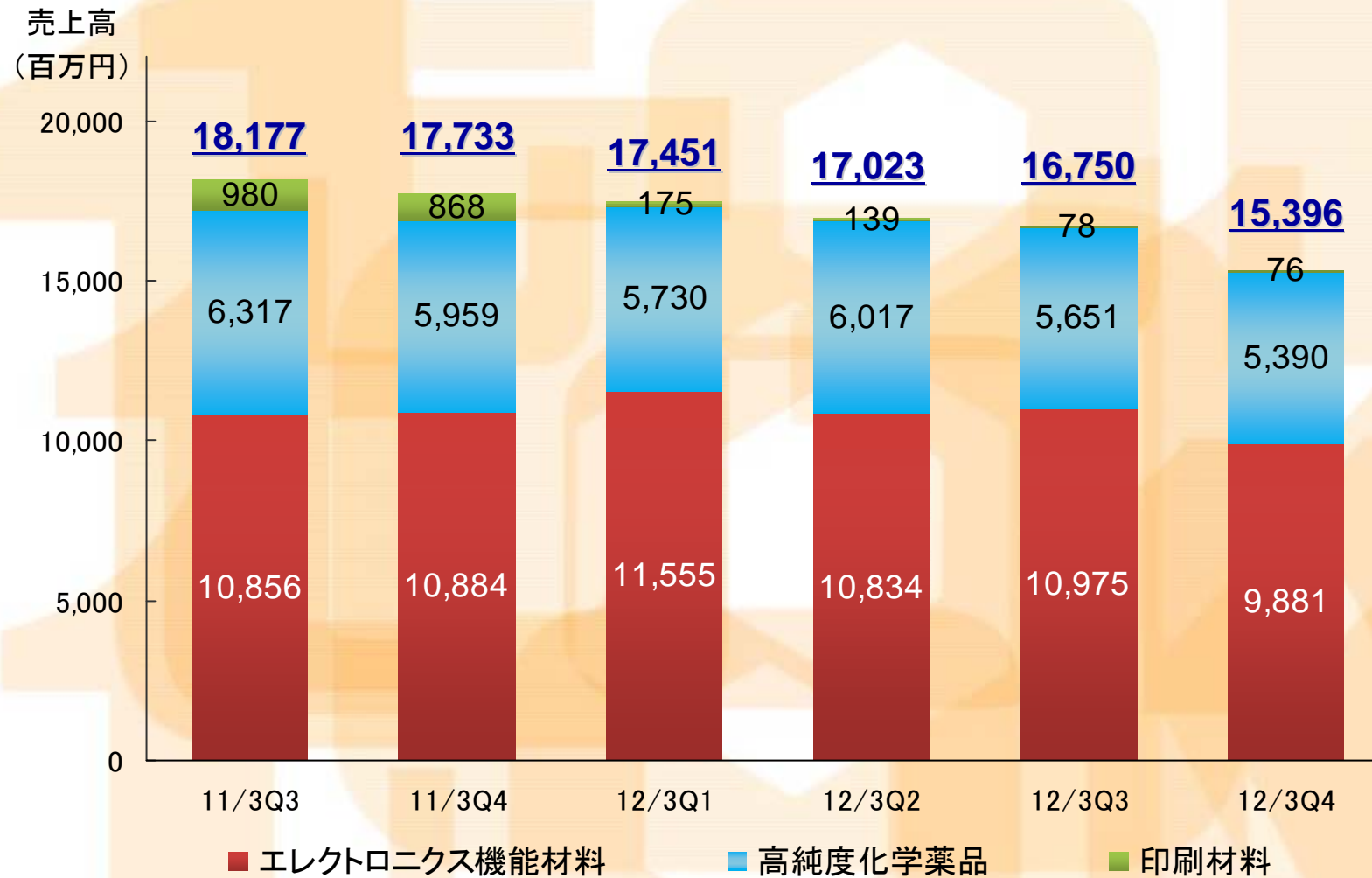
2012/3期より受取技術料(112百万円)を売上高に計上(従来は営業外収益)。2011/3期売上高は受取技術料55百万円を遡及。

# 営業利益の増減内訳（材料事業）

2011年3月期実績 対 2012年3月期実績



# 材料事業の売上内訳

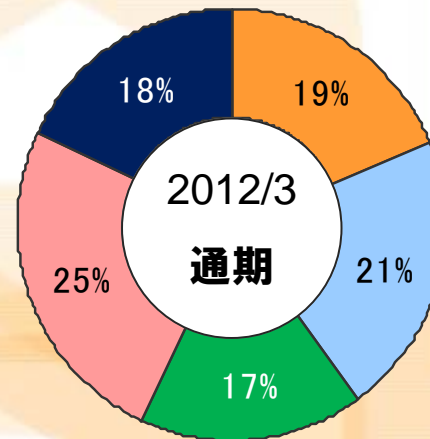
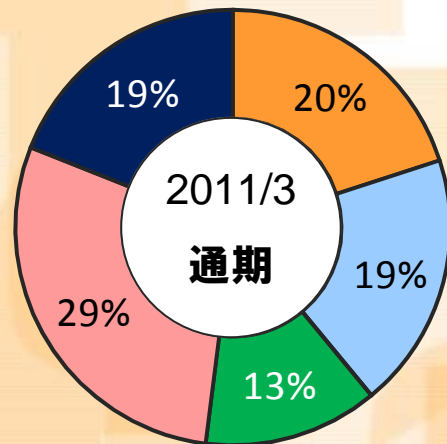


(注) 合計金額にはその他売上高を含む。



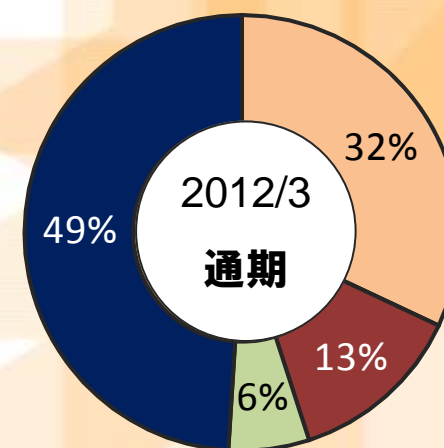
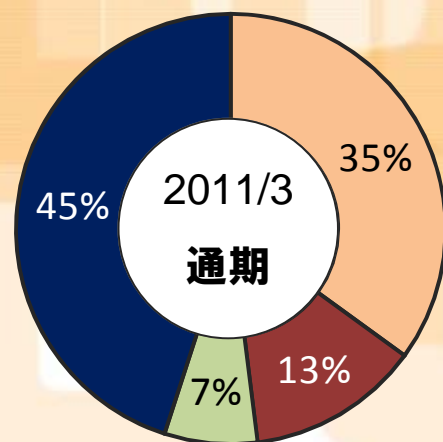
# (ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

## エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



- g+i
- KrF
- ArF
- FPD
- その他

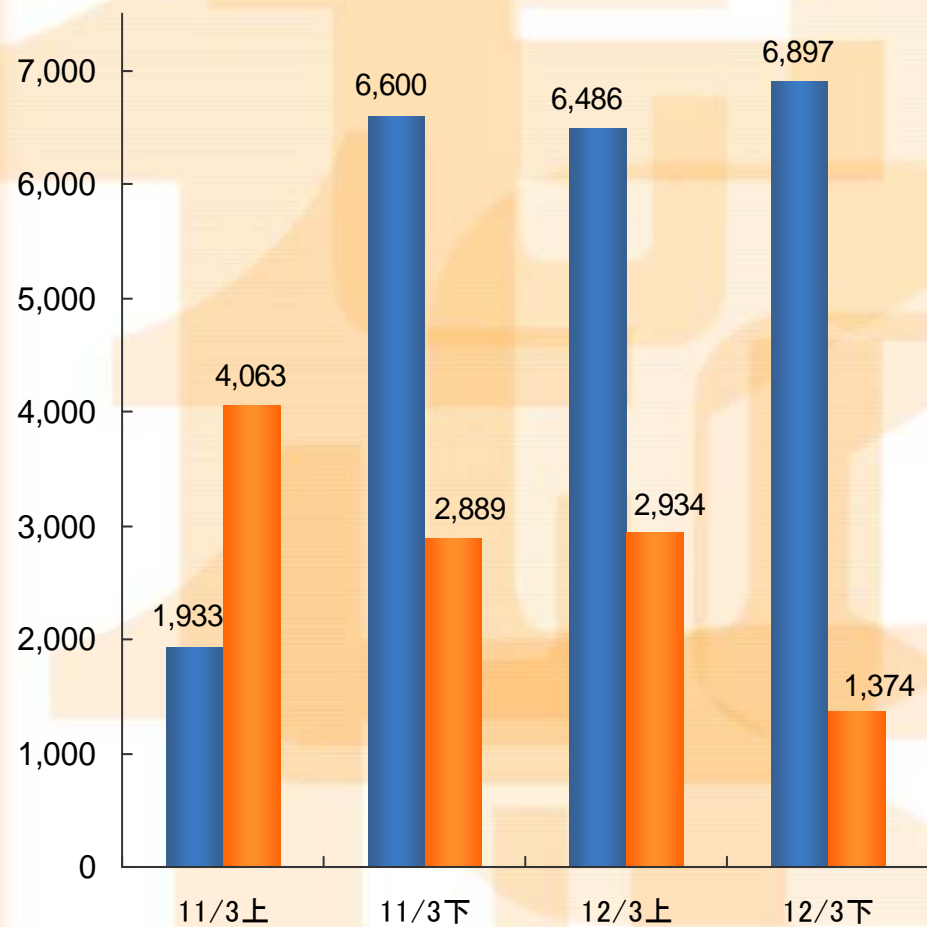
## 半導体フォトレジストの地域別売上構成



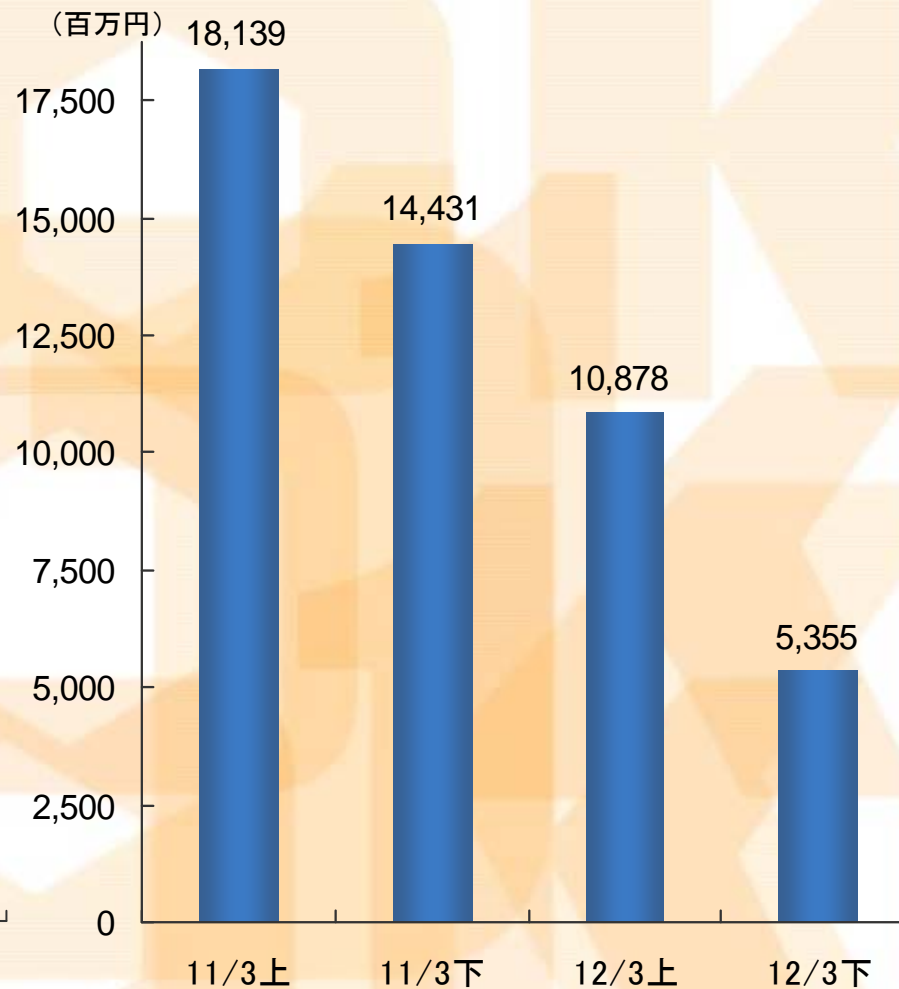
- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他

# 装置事業の推移

売上高・受注高  
(百万円)



期末受注残高  
(百万円)



■ 売上高

■ 受注高

■ 受注残高

# 比較貸借対照表

(百万円)

	2012/3	11/3末比	
流動資産	82,955	△10,843	現預金 +2,049 売上債権 △2,231 たな卸資産 △8,602 繰延税金資産 △1,172
内、現金預金	50,073	2,049	
有形固定資産	29,182	△1,233	建物及び構築物 △835 工具器具備品 △424 建設仮勘定 +61
無形固定資産	245	△11	
投資その他の資産	26,384	3,771	長期預金 +4,000 投資有価証券 +574 繰延税金資産 △493
流動負債	16,564	△9,848	
買入債務	6,622	△1,793	
前受金	3,348	△7,829	
固定負債	2,613	507	
純資産合計	119,590	1,022	利益剰余金 +2,197 自己株式 △607 為替換算調整勘定 △603
総資産	138,767	△8,317	

# キャッシュフロー

(百万円)

	2011/3	2012/3	
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>+15,352</b>	<b>+11,882</b>	
税金等調整前当期純利益	+6,427	+6,577	
減価償却費	+4,393	+4,038	
貸倒引当金の増減(△)額	△427	+795	
売上債権の増(△)減額	△1,908	+1,995	
たな卸資産の増(△)減額	△1,360	+8,414	装置事業の検収促進
仕入債務の増減(△)額	+154	△1,709	
前受金の増減(△)額	+7,010	△7,829	
法人税等の支払い	△869	△1,008	主な内訳 長期預金の純増預入 △15,000 有形固定資産の取得 △3,118
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>△2,917</b>	<b>△18,523</b>	
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>△1,514</b>	<b>△1,844</b>	主な内訳 配当金の支払 △1,846 (含む少数株主)
<b>換算差額</b>	<b>△402</b>	<b>△365</b>	
<b>現金及び現金同等物の増減額</b>	<b>+10,516</b>	<b>△8,851</b>	

**2013年3月期通期  
連結決算予想**

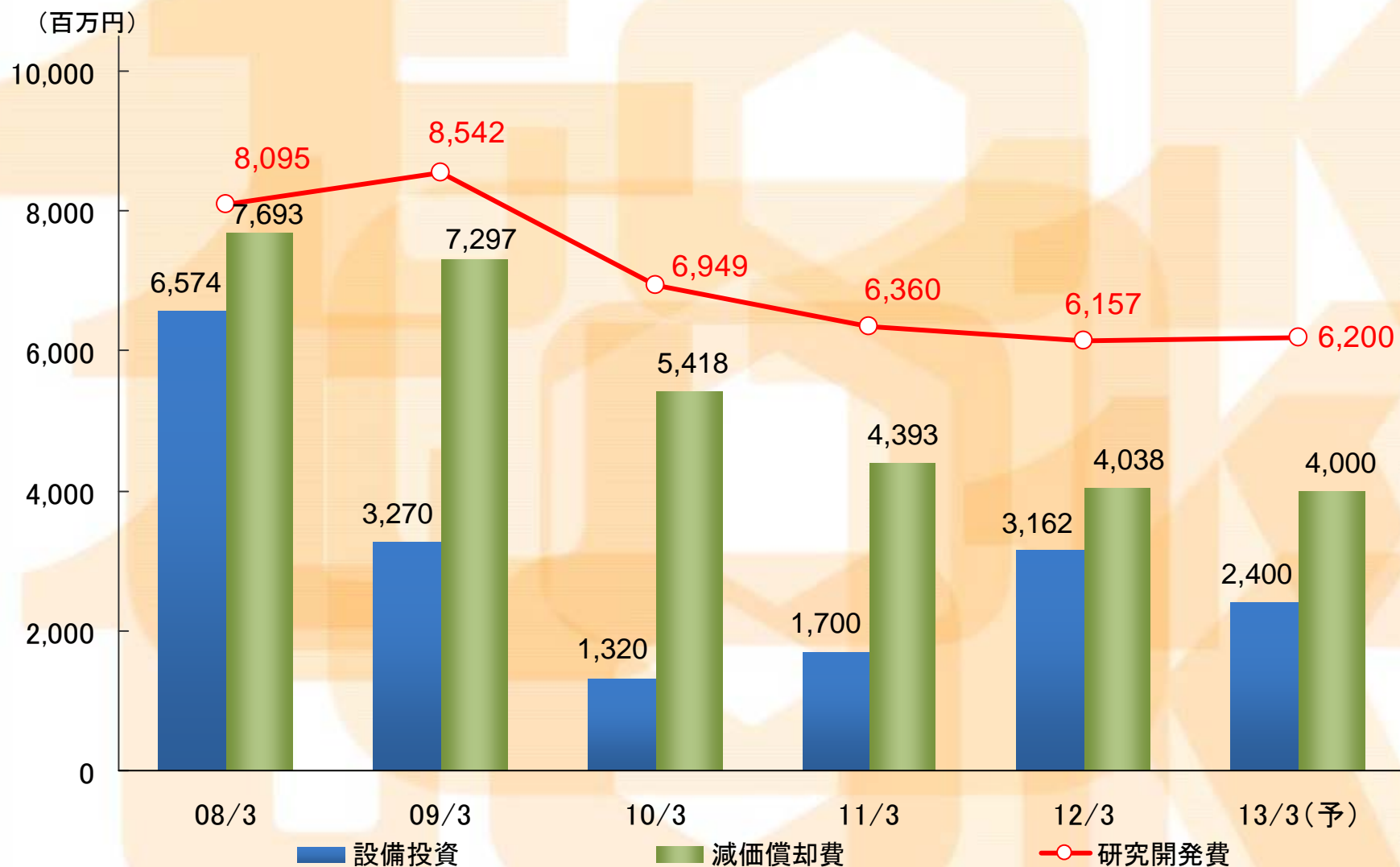
# 業績予想概要（通期）

（百万円、％）

	2012/3 実績	2013/3予想	
		増減	増減率
売上高	80,006	76,500	△3,506 △4.4
営業利益	6,072	8,300	+2,227 +36.7
経常利益	6,836	8,700	+1,863 +27.3
当期純利益	3,818	5,500	+1,681 +44.1

- 為替前提（USドル）：78.2円／ドル（2012/3）⇒80.0円／ドル（2013/3）
- 売上高：材料事業は増収に転じるが、装置事業の減少大きく、減収。
- 営業利益：材料事業の利益拡大、装置事業の黒字確保により増益

# 設備投資・減価償却・研究開発



# 事業別セグメント業績予想

(百万円、%)

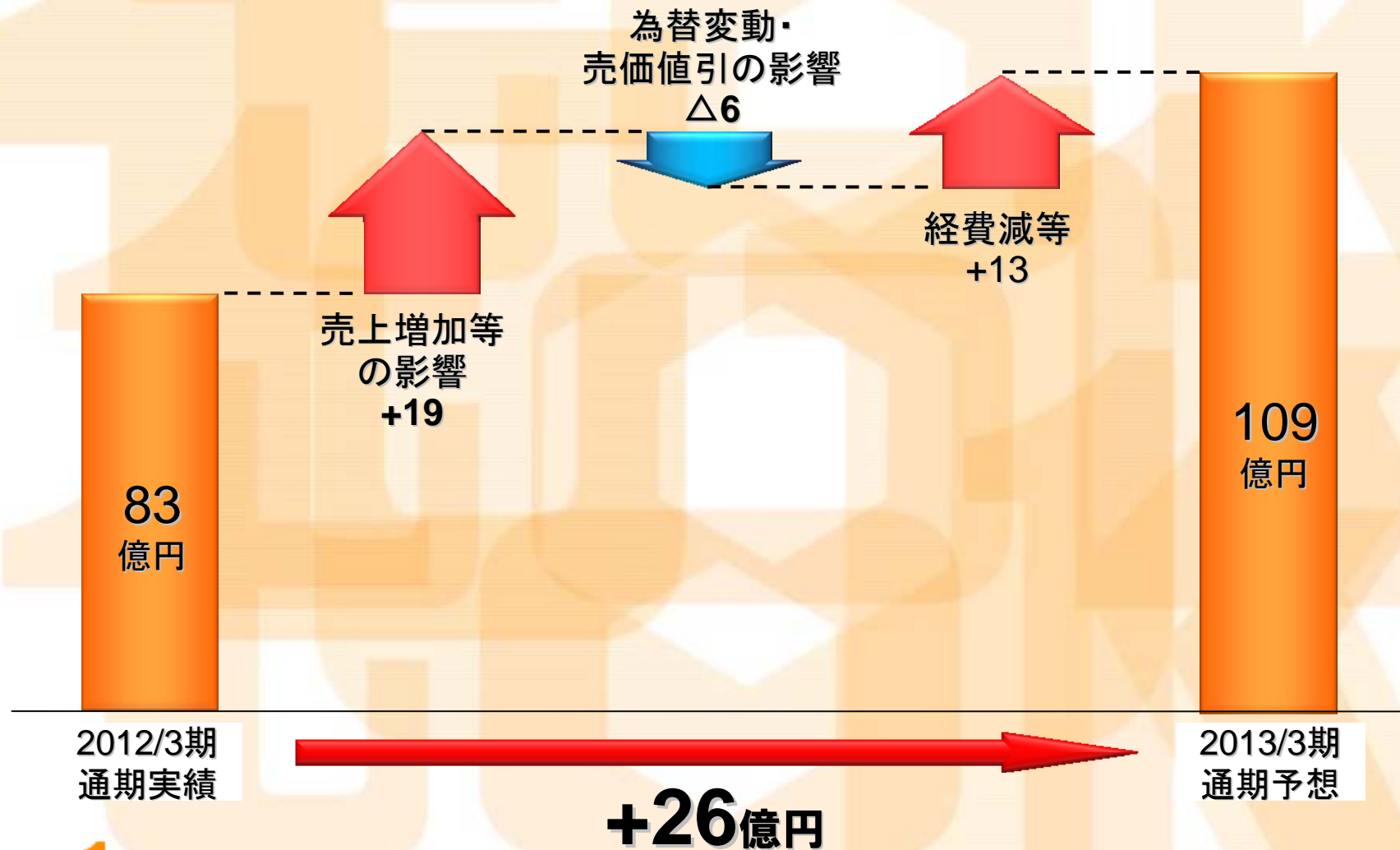
	2012/3 通期実績	2013/3通期予想		
			増減	増減率
売上高	80,006	76,500	△3,506	△4.4
材料事業	66,622	69,100	+2,477	+3.7
エレクトロニクス機能材料	43,246	44,400	+1,153	+2.7
高純度化学薬品	22,789	24,100	+1,310	+5.8
装置事業	13,384	7,400	△5,984	△44.7
営業利益	6,072	8,300	+2,227	+36.7
材料事業	8,280	10,900	+2,619	+31.6
装置事業	900	600	△300	△33.4
消去又は全社	△3,108	△3,200	△91	—

(注) 装置事業の売上は消去後の数字

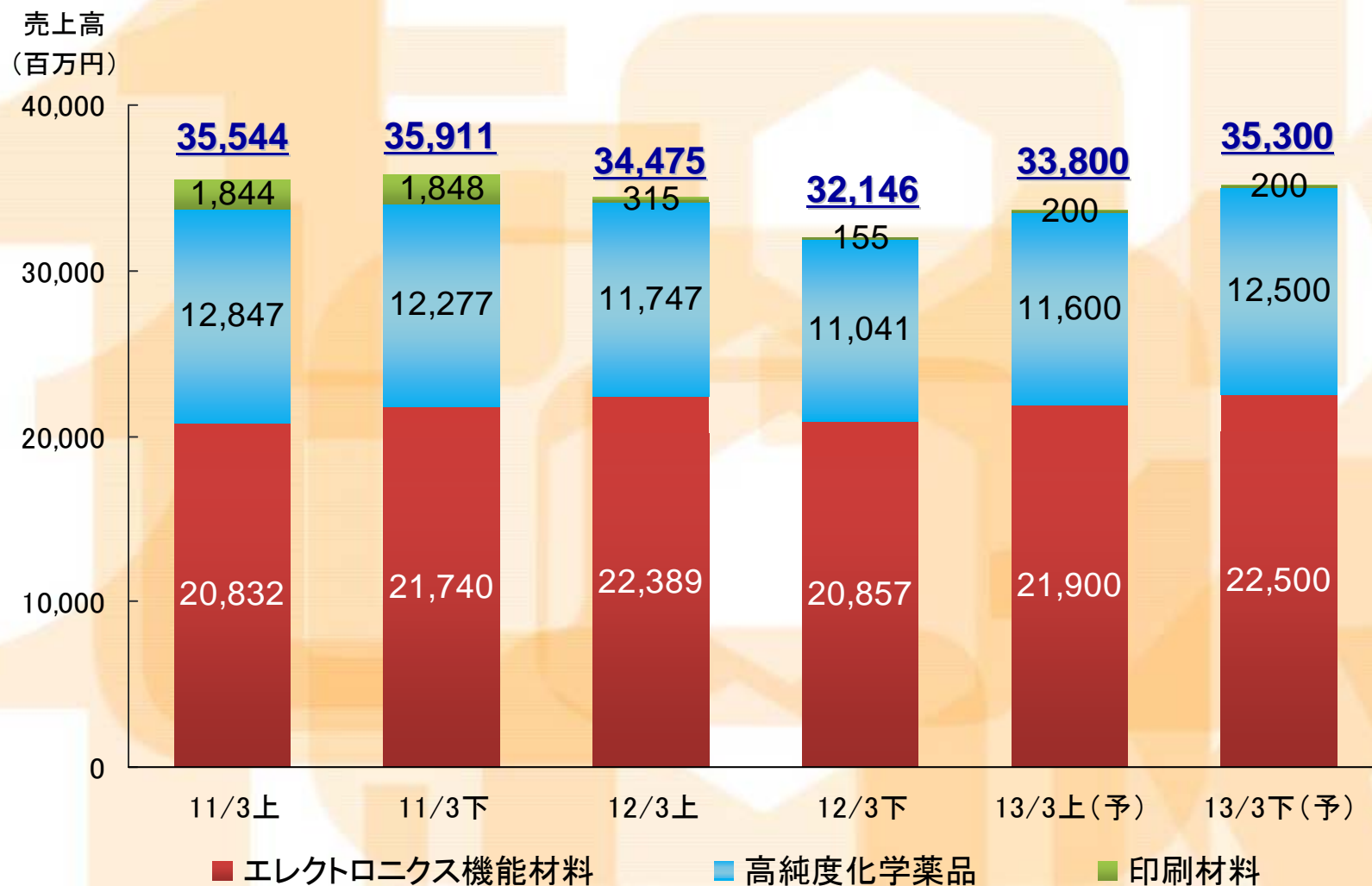


# 営業利益の増減内訳（材料事業）

2012年3月期実績 対 2013年3月期予想



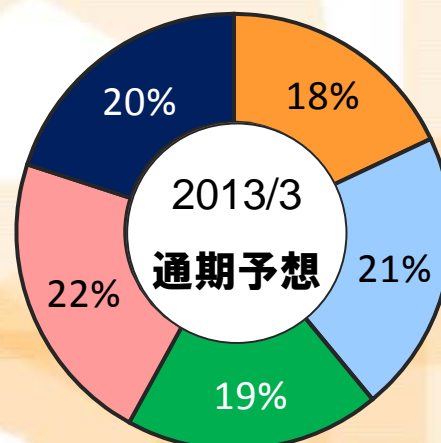
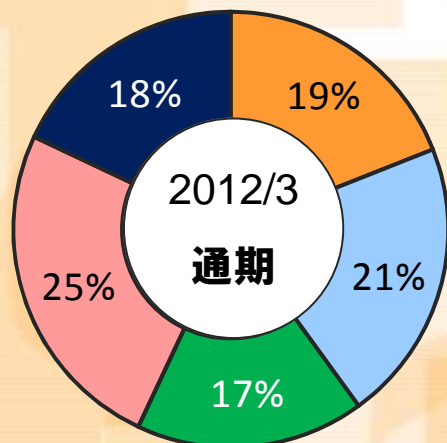
# 材料事業の売上内訳（予想）



(注) 合計金額にはその他売上高を含む。

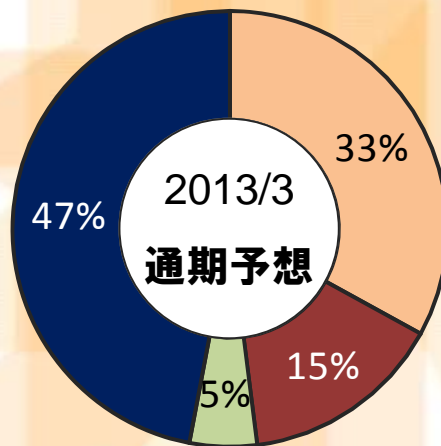
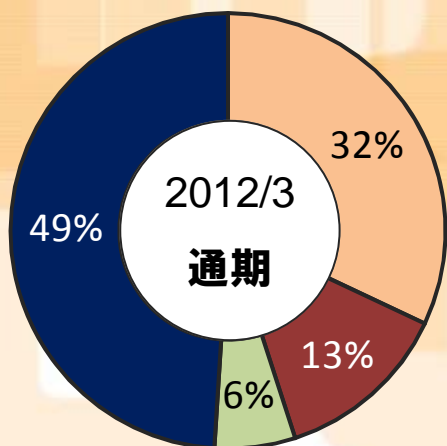
# (ご参考) エレクトロニクス機能材料部門

## エレクトロニクス機能材料の種類別売上構成



- g+i
- KrF
- ArF
- FPD
- その他

## 半導体フォトレジストの地域別売上構成



- 日本
- 北米
- 欧州
- アジア
- その他



**2013年3月期事業方針**  
**～新生東京応化に向けた強固な基盤づくり～**

# 2013年3月期の重点項目

- 半導体先端材料の深耕・拡大の推進
- 既存技術の多用途展開  
⇒光学関連材料等のマーケティング
- 新たなコア技術の開発・新事業の創出  
⇒環境・エネルギー分野でのマーケティング等
- TSV主導による装置事業の推進
- 新・中期計画の策定着手



**「新生東京応化」の構築に向け加速**

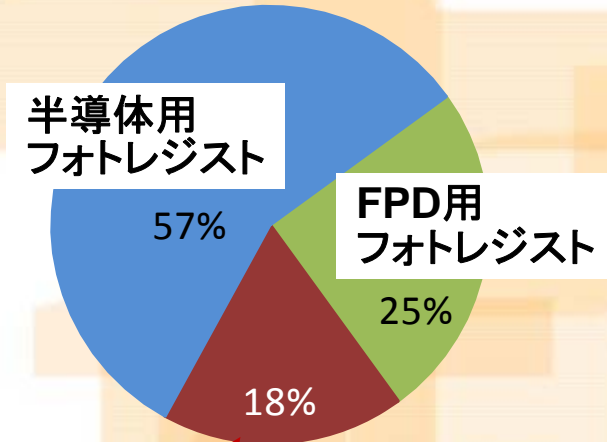
# 新生東京応化

半導体関連部門・液晶関連部門の2部門を柱に  
材料事業と装置事業が会社を支え、  
新たな事業を構築できる環境適応力の高い企業。



# 既存技術の多用途展開等の状況

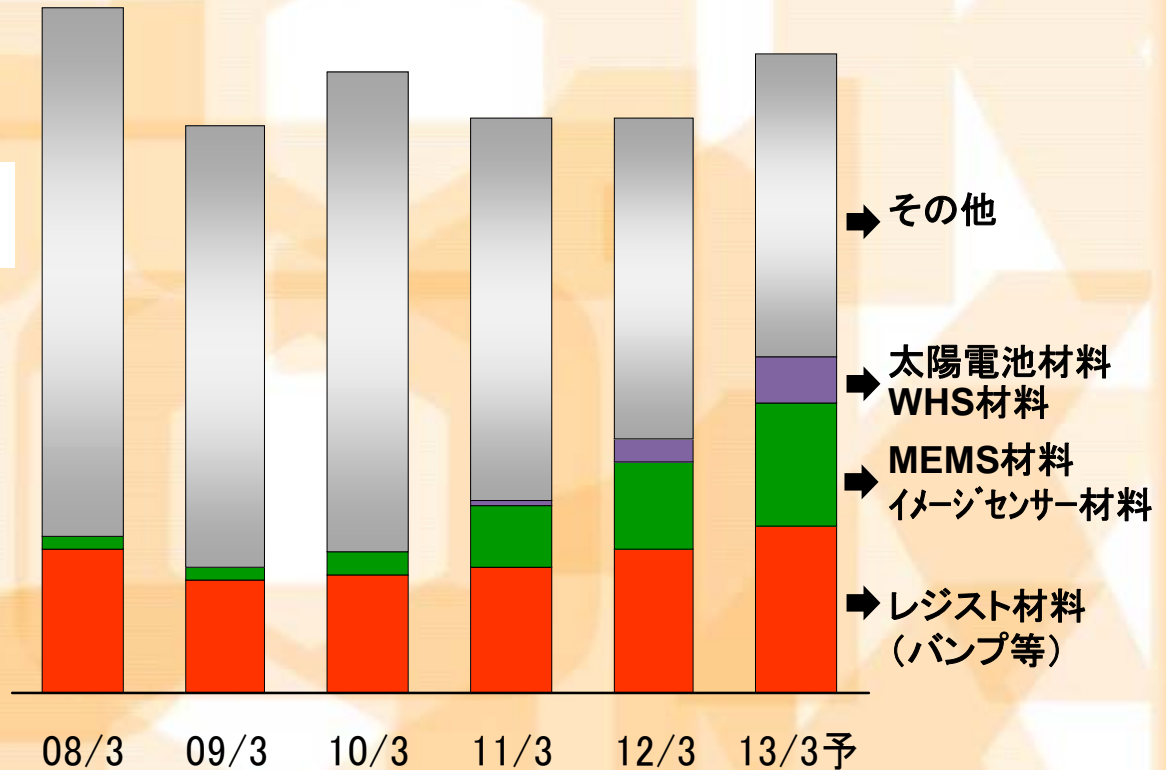
エレクトロニクス機能材料部門  
(2012/3期売上構成)



その他のエレクトロニクス機能材料

- ニッチな用途の製品群により構成されている。

ニッチな用途の製品群の売上推移  
(その他のエレクトロニクス機能材料)



(注) グラフは、プリント基板向けドライフィルムレジストの売上高を控除して作成。

製品構成の新陳代謝を強化し、売上成長を実現

# 成長に向けた基盤強化

## 新規用途・新事業の更なるパイプライン拡充





<http://www.tok.co.jp/>

(ご注意)

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。